

祭りには 霊験あらたかなる 神雲がたなびくという

る三匹獅子舞、稚児舞が奉納されます。午後には「こ」と称する田植人形を先頭に神輿渡御行列が御田神社に向かつて練り歩き、そのようすは平安絵巻さながらです。御田神社では、田植式、還御祭などが古式ゆかしく行われ、翌早朝の早苗直し、早苗振祭をもってすべて終了します。

全国各地の神社でも文化財指定の田植え様式が拝殿や社前で行われますが、神事の中で、直接田植えを行うのは、日本三田植祭の共通した特徴といえます。会津高田の御田植祭で際立っているのは、一社相伝で、独特の伝統神事として、固有の「獅子追神事」と神輿渡御の行列に供奉する人たちが謡い囃す「催馬楽」を伝承していることです。特に、行列の中でひとときわ高く掲げられる「田植人形」は時をこえて今に伝えられるまつりの情景です。

早乙女踊り



稚児の舞



獅子追い



御田植祭

